

LESSON 16

最も優先度の高い改善項目は、「設備・機械要因 (Machine)」における溶接機本体の更新（根本的な設備対策の実施）です。その根拠は以下の3点です。不良発生数への直接的かつ甚大な影響 溶接機の電圧不安定や設備更新待ちが指摘されている日に、11件や13件といった非常に多い不良が発生しています。特に5月19日には月間最多となる15件の不良が記録されており、「至急対策会議を要請」する事態にまで発展しているため、被害の規模が最も大きいです。仮修理による明確な効果と他の対策の限界 6月初旬に溶接機の「仮修理」を実施した直後は、不良数が1日3～6件に減少しており、設備へのアプローチが明確な改善効果をもたらすことが証明されています。一方で、材料要因への対策として新しい溶接ワイヤーの試用も行われましたが、こちらは「効果なし」と記録されており、設備以外の対策では根本的な解決に至らないことがわかります。長期間放置されている根本リスク 4月21日の時点で上長へ「溶接機更新を申請済み」であるにもかかわらず、5月になっても「更新待ち状態が続く」とされています。さらに、最新の9月5日のデータでも「根本対策がまだ完了していない」と明記されており、約半年にわたって最大の不良要因が放置されている状態です。上層部へ溶接機の早期更新を決裁してもらうために、この分析結果をまとめたレポート (Tailored Report) を作成しましょうか？